

春の新緑と歴史 の宮島ウォーク

宮島は古来から島そのものが神として信仰され神を「いつきまつる」という意味で「^{いつきしま}巖島」と呼ばれていました。

今回は宮島棧橋の向かい側にある要害山(宮尾城跡)に登り、歴史を語りつぐ町並みを眺望します。町の東西を結び、石畳も残されている、最も古い参道「^{やまべ}山辺の古径」^{こみち}を通して、もみじ歩道、あせび歩道の新緑を見ながら散策します。

宮島地区パークボランティア観察会

日時 平成29年5月13日(土) 9:30~15:00

集合場所 宮島棧橋前の藤棚(錦水別館前) (受付開始:9:10~)
コース 宮島棧橋 ~ 要害山(棧橋向かい側) ~ 山辺の古径 ~ もみじ歩道 ~ あせび歩道 ~ 大元公園休憩所(解散)

対象 近郊の里山ウォーキングができる人(小学生から大人まで)

定員 30名(応募多数の場合抽選)

参加費 500円(資料、野外活動保険代)

天候 午前6時のNHKニュースの天気予報で午前/午後どちらかが降水確率50%以上の場合は中止

申込方法 参加者全員の住所、氏名、年齢、性別、電話・FAX番号を記入の上、往復ハガキまたはFAXで申し込んでください。

申込期限 5月2日(火)必着

申込先 〒730-0012広島市中区上八丁堀6-30広島合同庁舎3号館1階

環境省中国四国地方環境事務所広島事務所 自然保護官宛

TEL: 082-223-7450 / FAX: 082-211-0455 / E-mail: MOE-HIROSHIMA@env.go.jp

主催：環境省中国四国地方環境事務所広島事務所・宮島地区パークボランティアの会